

	(膨らみ部分に入っている薬を1ヶ使用) または、 医師の判断に応じて 1回2ブリスター (膨らみ部分に入っている薬を2ヶ使用)	1回1ブリスター (膨らみ部分に入っている薬を1ヶ使用)	1回1ブリスター (レバーを1回押す)
--	---	-------------------------------------	----------------------------

●この薬を吸入できる回数は？

[セレベントロタディスク]

この薬の1つの膨らみ（ブリスター）内に1吸入ぶんの薬が入っています。

[セレベントディスク]

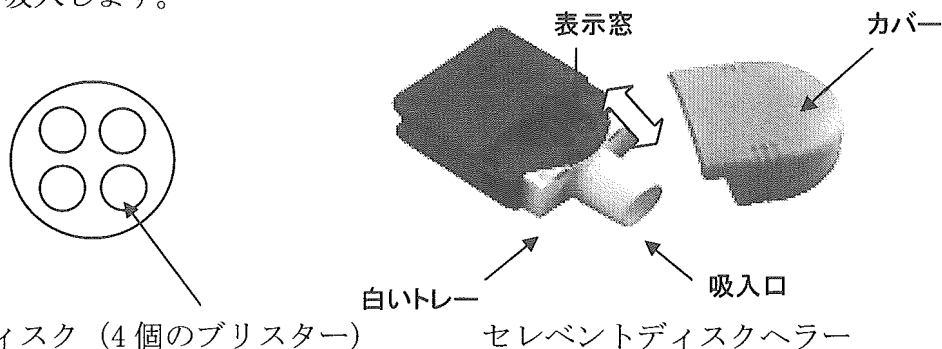
この薬の中には60回分の薬が入っています。

処方されたときはカウンターに「60」と記載されていますが、吸入するときのレバーを押すと自動的にカウンターが動き、残りの使用回数を確認できます。この表示が「0」（ゼロ）になったら使用しないで新しい薬と交換してください。

●どのように使用するか？

[セレベントロタディスクを処方された方の吸入方法]

ロタディスクは円板状で4個のブリスター（膨らみ）があり、その中に薬が入っています。このディスクを専用の吸入器（セレベントディスクヘラー）に装着してお薬を吸入します。



<薬の装着方法>

1) カバーをはずします

「セレベントディスクヘラー」と書かれている面を上にして薄い緑色のカバーをはずします。

2) トレーを引き出します。

白いトレイの両端を持って動かなくなるところまで静かに引き出します。

3) トレーを取りはずします。

白いトレイ側面のグリップ（ギザギザの部分）を両側から親指と人差し指でつまみながら（内側に押しながら）、本体からトレイを取りはずします。

4) 薬（ディスク）をのせます。

白いトレイの4つの穴にディスクの凸部分をあわせてのせます。

5) トレーをもどします。

薬（ディスク）をのせた白いトレイを本体にカチッと音がするまでしっかりと最後まで押しもどします。（ディスク上面には数字が見えます。）

6) 薬（ディスク）を回転させます。

白いトレイの両端を持って動かなくなるところまで静かに引き出し、再び押し戻します。この時、カチッという音とともにディスクが回転します。

7) 表示窓の番号を確認します。

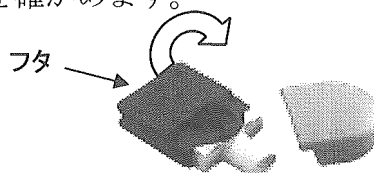
6) の操作を繰り返すことによってディスクが回転し、表示窓に「4」があらわれたら装着がおわります。

<薬の吸入方法>

1) カバーをはずします。

「セレVENTディスクヘラー」と書かれている面を上にして薄い緑色のカバーをはずし、吸入口が汚れていないことを確かめます。

2) 薬（プリスター）に穴をあけます。



吸入器をたいらに保ち、①ふたを垂直になるまでたて、②再びふたを閉じます。この操作によりプリスターの上面から下面まで針が貫通し、薬を吸入できる状態になります。

3) 息を吐き出します。

吸入器をたいらに保ち、無理をしない程度に息を吐き出します。

注意) 薬がこぼれないように、吸入器をたいらに保ってください。また、吸入器に向けて息を吐かないでください。

4) 薬を吸い込みます。

たいらに保ったまま吸入口を軽くくわえます。その際、側面にある空気孔をふさがないようにしてください。はやく深く口から息を吸い込みます。その後、吸入器を口から離し、そのまま軽く息を止めます。なお、息止めは無理をしない程度の長さにしてください。

なお、薬が吸入器に残るようであれば、1～2回繰り返して薬を吸い込んでください。

5) 残りの回数を表示させます。

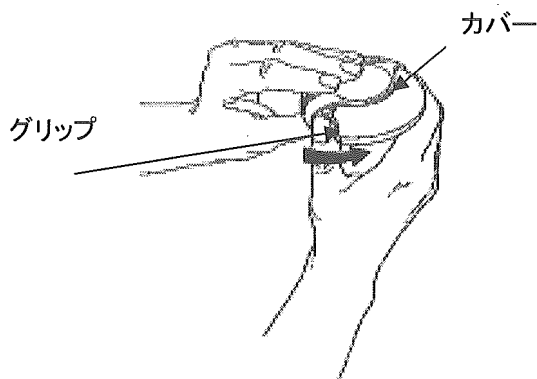
吸入が終わったら、白いトレイを動かなくなるところまで引き出し、再び押し戻します。これによりディスクが回転し、次の番号が表示され、残りの吸入回数に分かります。

- このお薬は必ず専用の吸入器（セレVENTディスクヘラー）を用いて吸入してください。
- 吸入方法に関しては携帯袋や使用説明書にも書かれていますのでよく読んで使用してください。不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。

[セレVENTディスクスを処方された方の吸入方法]

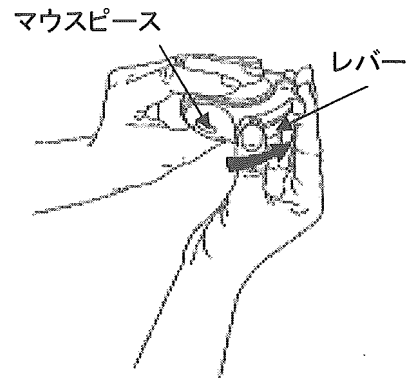
1) カバーを開けます。

肩手でカバーを持ち、もう片方の手の親指をグリップにあて、グリップが止まるまで回してください（カチリと音がします）。



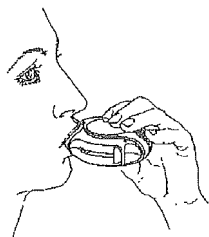
2) レバーを押します。

マウスピース（吸入口）を自分に向けて持ち、レバーをグリップのところまで押し付けてください（カチリと音がします）。注）薬を吸入するとき以外はレバーを操作しないでください。



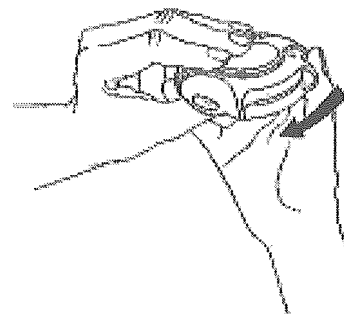
3) 薬を吸います。

軽く息をはいてから吸入器をたいらに持ち、マウスピース（吸入口）を軽くくわえ、口からはやく深く息を吸い込んでください。吸入器を口から離し、そのまま軽く息を止めてください。なお、息止めは無理をしない程度の長さにしてください。次にゆっくりと息をはきます。注）マウスピース（吸入口）に息を吹き込まないでください。



4) カバーを閉じます。

グリップに親指をあて、カチリと音がするところまで回し戻して容器を閉じます。（レバーも一緒にもとの位置に戻ります）。



この薬の中には 60 回分の薬が入っています。処方されたときはカウンターに「60」と記載されていますが、吸入するときのレバーを押すと自動的にカウンターが動き、残りの使用回数が確認できます。この表示が「0」（ゼロ）になったら使用しないで新しい薬と交換してください。

・吸入方法に関しては携帯袋や使用説明書にも書かれていますのでよく読んで使用し

てください。不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。

●**効果が不十分な場合の対応**

この薬を毎日規則的に使用しても効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

●**使い忘れた場合の対応**

2回分を1度に吸入しないでください。気付いたらすぐに1回分を吸入してください。ただし、次に吸入する時間が近い場合は次の1回分を抜いてください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し、受診してください。場合により、心停止にいたることもあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過量に使用すると、血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し受診してください。場合により、心停止にいたることもあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

[喘息の治療でこのお薬を使う方へ]

- ・この薬は毎日規則正しく使用する薬です。主治医の指示なく、自己判断で使用を中止したりしないでください。
- ・この薬は、喘息の発作を速やかに鎮める薬ではありません。発作時には別に処方された発作止め薬を使用するか、できるだけ早く主治医または近くの医療機関を受診してください。
また、発作止めの薬を使う回数や量が増えてきた時や、喘息の症状が抑えられない場合は、できるだけ早く主治医に相談してください。
- ・通常、喘息で起こる気道の炎症を抑える薬（吸入ステロイド薬など）と併用されます。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

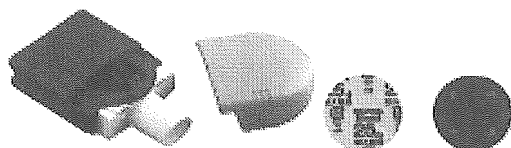
重大な副作用	主な自覚症状
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくなくけっせいカリウムちのていか	脈が乱れる、脈がとぶ、脱力感、筋力の低下、手足のまひ、口渇、息苦しい、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下など
ショック、アナフィラキシー様症状 しょくく、あなふいらきしーようしょうじょう	めまい、頭痛、立ちくらみ、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつきなど

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

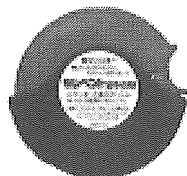
部位	主な自覚症状
全身	立ちくらみ、からだがだるい、ふらつき、脱力感
頭部	めまい、頭痛、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下
顔面	ほてり
眼	眼と口唇のまわりのはれ
口やのど	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、口渇
胸部	動悸、息切れ、息苦しい
手・足	手足のまひ、脈が乱れる、脈がとぶ
皮膚	じんましん
筋肉	筋力の低下
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

セレベント[®]25 ロタディスク[®]、セレベント[®]50 ロタディスク[®]
円板状で4個の膨らみ（ブリスター）があるディスク（1枚で4回吸入分）
25 μ g：黄緑色（表面） 50 μ g：深緑色（表面）



セレベント[®]50 ディスカス[®]
丸い型をした吸入器（1個で60回吸入分） 色：青緑色



【この薬に含まれているのは？】

有効成分：キシナホ酸サルメテロール
添加物：乳糖

【その他】

●この薬の保管方法は？

[セレベント[®]25 ロタディスク[®]、セレベント[®]50 ロタディスク[®]]

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ロタディスクのブリスター（薬が入っている部分）は吸入する直前まで穴を開けないでください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

[セレベント[®]50 ディスカス[®]]

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・アルミ包装は使用開始直前まで開封しないでください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：

グラクソ・スミスクライン株式会社 (<http://www.glaxosmithkline.co.jp>)

カスタマー・ケア・センター

TEL：0120-561-007（9：00-18：00/土・日・祝日を除く）

ベネトリン吸入液

【この薬は？】

販売名： ベネトリン吸入液 Venetlin for Inhalation
一般名： 硫酸サルブタモール Salbutamol sulfate
含有量： 1 mL 中硫酸サルブタモール 6mg(サルブタモールとして 5mg)含有

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

下記疾患の気道閉塞性障害にもとづく諸症状の緩解
気管支喘息、小児喘息、肺気腫、急・慢性気管支炎、肺結核

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
- ・過去にベネトリン吸入液に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。
- ・甲状腺機能亢進症の人
 - ・高血圧の人
 - ・心臓に障害のある人
 - ・糖尿病の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師にご相談ください。

【この薬の使い方は？】

この薬は吸入器を用いる吸入薬です。決して飲んだり注射したりしないでください。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
一般的に使用する量は、次のとおりです。

	1回の吸入量
成人	0.3～0.5mL
小児	0.1～0.3mL

自分の判断で1回の使用量を増やさないでください。

●どのように使用するか？

スポイト等で必要量のみを取り出し、吸入器を用い、深呼吸しながら吸入します。

●効果が不十分な場合の対応

喘息の方において、発作が重篤でこの薬の効果が不十分な場合は、できるだけ早く受診してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。

このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度に使用すると血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1回の吸入量、1日の吸入回数等に十分注意してください。
- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が認められない場合は、できるだけ早く医師に相談してください。
- ・発作が重篤でこの薬が不十分な場合は、ただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくなくけっせいカリウムちのていか	脈が乱れる、脈がとぶ、脱力感、筋力の低下、手足のまひ、口渇、息苦しい、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下など

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部 位	主な自覚症状
全身	脱力感
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない
口やのど	口渇
胸部	息苦しい
手・足	手足のまひ、脈が乱れる、脈がとぶ
筋肉	筋力の低下
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

外 観：無色の液体

【この薬に含まれているのは？】

有効成分：硫酸サルブタモール

添 加 物：濃塩化ベンザルコニウム液 50、pH 調節剤

【 その他 】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気をさけて室温(1～30℃)で保管してください。なお、医師または薬剤師からの指示があるときはそれに従ってください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。
- ・開栓後は汚染防止のため、清潔に取り扱ってください。
- ・容器内に他の薬剤や異物が混入しないように注意してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：三共株式会社 (<http://www.sankyo.co.jp/>)

製品情報サービス部

電話番号：03-5255-7177

受付時間：9:00～17:00

(土、日、祝祭日、当社休日を除く)

ベロテックエロゾル 100

【この薬は？】

販売名	ベロテックエロゾル 100 Berotec Metered Aerosol 100
一般名	臭化水素酸フェノテロール Fenoterol Hydrobromide
含有量	1回噴霧中臭化水素酸フェノテロール 0.1mg (100 μg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。
下記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解
気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、塵肺症
- ・喘息の方は発作がおこったときに使用します。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 過量使用にならないよう注意してください。不整脈、場合により心停止をおこすおそれがあります。適切な使用方法をよく理解しておく必要があります。正しい使用方法を医師、薬剤師からよく説明を受けてください。
- この薬は他の吸入剤（気管支拡張剤）が効かない場合に限って使用します。小児（15歳未満）には、医師が厳重に患者の状態を把握できる場合のみ使用されます。

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・カテコールアミン（エピネフリン、イソプロテレノール等）を使用している人
 - ・過去にベロテックエロゾルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。
 - ・甲状腺機能亢進症の人
 - ・高血圧の人
 - ・心臓に障害のある人
 - ・糖尿病の人
 - ・高齢の人
- この薬には併用してはいけない薬 [エピネフリン製剤（エピネフリン、ボスミン注、ノルエピネフリン）、イソプロテレノール製剤（アスプール液、メジヘラー・イソ）] や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談ください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・この薬は、通常1回2吸入します。成人の場合は、2～5分たって効果が不十分な場合はさらに1～2吸入してください。
- ・1回2吸入が原則ですが、1回1吸入からはじめ、効果を確認しながら使用してください。
- ・吸入後2～5分を待っても十分な効果がみられない場合には、2吸入を限度として追加吸入できますが、それ以上の追加吸入を行うときは、少なくとも6時間の間隔をおいて、1日4回(16吸入)までとってください。
- ・使用方法に関して、別途医師からの指示がある場合は、医師の指示どおり吸入してください。
- ・喘息の方は発作がおこったときに使用します。

●この薬を使用できる回数は？

容器1ボンベ（10mL）で約200回吸入できます。

●どのように使用するか？

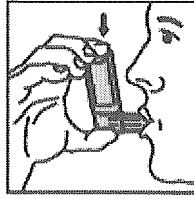
この薬の効果を十分にあらわすためには正しい使い方をするのが大切です。初めて吸入する場合には、鏡の前で試みてください。
次の順序で使用します。

(1) キャップをはずします。

なお、初めて使用する場合及び前回使用から3日間（72時間）使用していない場合には、2回噴霧し、正しく噴霧されるか確かめてください。ただし、このとき顔に向けて噴霧しないでください。

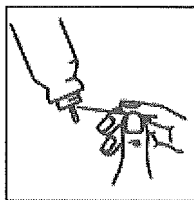
(2) 息をはき出します。

(3) 容器を下図のように持って、吸入口を歯で軽くくわえます。このとき、容器の底は上を向きます。



- (4) できるだけ深く息を吸い込みながら、容器の底を1回垂直に強く押します。数秒間息をとめ、その後、口からアダプターをはずしゆっくり息をはき出します。
- (5) 2吸入する場合は(2)～(4)の手順を繰り返します。
- (6) 使用後はキャップをつけます。
- (7) 吸入終了後はうがいをしてください。

- ・この薬の効果を十分に発揮させるため、痰がからんでいるようなときは、使用前にできるだけ出しておいてください。
- ・この装置は指でおさえ圧を加えることにより何回も使用でき、一定量が噴霧された後、自動的にもとの状態にもどるようになっています。
- ・容器の底を上にして圧を加えないと薬剤が噴霧されないので、注意してください。
- ・まれにゴミがつまり噴射しない場合があるので、その場合は、よく消毒した針で下図のごとくステム孔を掃除してください。また、アダプターの噴射孔にゴミがつまり噴射しない場合には、アダプターを水でよく洗い、乾燥してから使用してください。



(ステム孔)

●効果が不十分な場合の対応

発作が重篤で、この薬の効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・この薬は他の吸入剤（気管支拡張剤）が効かない場合に限って使用します。過度に使用すると血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があら

われることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1回の吸入数、1日の吸入回数等に十分注意してください。

- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が不十分な場合は、ただちに医療機関を受診し治療を受けてください。
- ・発作が重篤でこの薬の吸入の効果が不十分な場合には、ただちに受診し治療を求めてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・この薬には併用してはいけない薬[エピネフリン製剤（エピネフリン、ボスミン注、ノルエピネフリン）、イソプロテレノール製剤（アスプール液、メジヘラー・イソ）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談ください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、その主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血清カリウム値の低下 <small>けっせいかりうむちのていか</small>	脱力感、筋力の低下、四肢の麻痺、呼吸困難、口渇、意識障害、頻脈

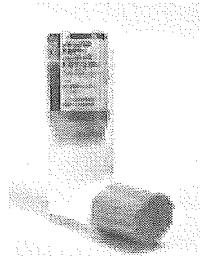
以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、呼吸困難、意識障害
口やのど	口渇
胸部	頻脈
手・足	四肢の麻痺
筋肉	筋力の低下

【この薬の形は？】

ベロテックエロゾル 100

定量噴霧式エアゾール剤（本体：ステンレス、アダプター：プラスチック、
キャップ：プラスチック）



【この薬に含まれているのは？】

有効成分	臭化水素酸フェノテロール
添加物	無水エタノール、無水クエン酸、1,1,1,2-テトラフルオロエタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●廃棄方法は？

- ・使用後、火中に投入しないでください。
- ・地方自治体により定められた廃棄処理法にしたがってください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関するご質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

(<http://www.boehringer-ingenheim.co.jp/>)

メディカルアフェアーズ部 DI センターグループ

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2丁目8番8号

住友不動産猿楽町ビル

フリーダイヤル：0120-189-779

（受付時間）9:00～18:00

（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

メプチンクリックヘラー10 μ g

【この薬は？】

販売名	メプチンクリックヘラー10 μ g Meptin Clickhaler 10 μ g
一般名	塩酸プロカテロール procaterol hydrochloride
含有量 (1吸入中)	10 μ g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

下記疾患の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解

気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫

- ・喘息の方は、喘息発作がおこったときに使用します。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にメプチンクリックヘラー10 μ gに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人。

○次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・高血圧の人
- ・心臓に障害のある人
- ・糖尿病の人
- ・妊婦または妊娠の可能性のある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
一般的に使用する量は、次のとおりです。

	1回の吸入量
成人	2吸入
小児	1吸入

1日の吸入回数は最大4回（原則として成人8吸入、小児4吸入）までとしてください。

- ・喘息の方は、喘息発作がおこったときに使用します。

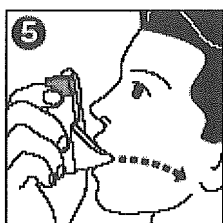
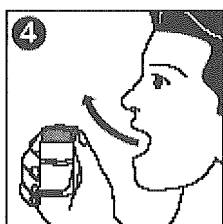
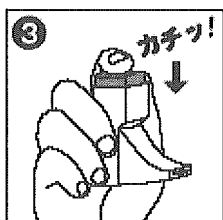
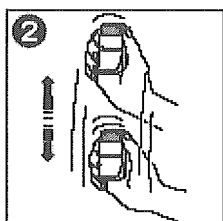
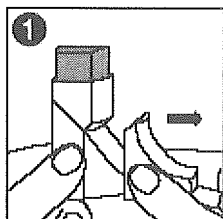
●使用できる回数は？

- ・この薬は1容器で200回吸入できます。

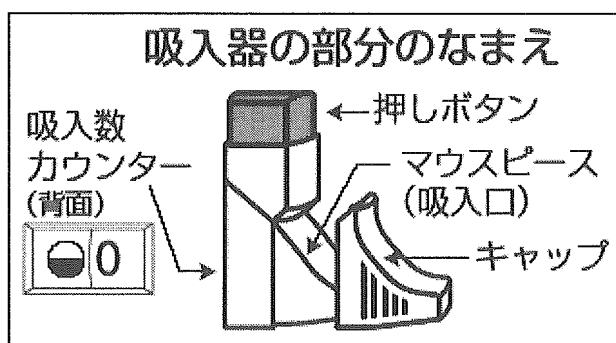
●どのように使用するか？

- ・必ず、医師の指示に従い、使用する時は使用説明書の「メプチンクリックヘラー10 μ gを正しくお使いいただくために」をよく読んで使用してください。
- ・お子さんが使用する場合は、保護者の方が使用法を正しく指導し、保護者の監視下で使用してください。
- ・吸入終了後はうがいをするように心がけてください。

・吸入方法



- ① キャップを外します。
- ② 青色の押しボタンが上になるように吸入器を持ち、そのまま上下に3～4回振ります。
- ③ 青色の押しボタンが上になるように吸入器を持ち、押しボタンを、「カチッ」と音がして止まるまで押し下げます。次に、指の力をぬいて、ボタンを元の状態に戻します。これで1吸入分がセットされます。吸入が終了するまで、常に青色のボタンが上になるように持ってください。
なお、初回吸入時には、青色の押しボタンを強く押し込んでください。
- ④ マウスピースをくわえる前に息を吐きます。
注意：マウスピースに息を吹き込まないでください。
- ⑤ マウスピースと唇の間に隙間ができないようにマウスピースをくわえ、はやく深く息を吸い込みます。この時に薬が吸い込まれます。マウスピースを口から離し、数秒間息を止めてください。その後、ゆっくり息を吐きます。
- ⑥ 2吸入する場合は、1分程度の間をおいて②～⑤の手順を繰り返します。
- ⑦ 吸入終了後はうがいをするように心がけてください。
- ⑧ 吸入後は乾いたティッシュペーパーなどで拭いた後に、キャップを付け、専用の保管容器に入れてください。



●効果ที่ไม่十分な場合の対応

発作が重篤で、この薬の効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合にはただちに使用を中止し、医師または薬剤師に連絡してください。また、過度の使用により、心停止のおそれがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・過度の使用により重篤な副作用があらわれることもあるので、患者または保護者が正しい使用方法について十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合には、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度に使用すると血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたらただちに使用を中止し、医師または薬剤師に連絡してください。また、過度の使用により、心停止のおそれがあります。特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1回の吸入数、1日の吸入回数等に十分注意してください。
- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が認められない場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・発作が重篤でこの薬の効果が不十分な場合は、できるだけ早く受診してください。
- ・妊婦または妊娠の可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳は避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック しよっく	めまい、頭痛、立ちくらみ
アナフィラキシー様症状 あなふいらきしーようしょうじょう	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき

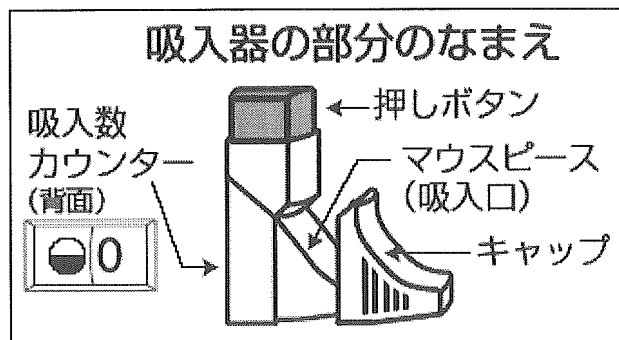
重大な副作用	主な自覚症状
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくなくけっせいかりうむちのていか	筋力の低下、息苦しい、判断力の低下、考えがまとまらない、脱力感、口渇、意識がうすれる、手足のまひ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、ふらつき、脱力感、立ちくらみ
頭部	考えがまとまらない、めまい、意識がうすれる、意識の低下、頭痛
顔面	ほてり
眼	眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、口渇
胸部	動悸、息苦しい、息切れ
手・足	手足のまひ
皮膚	じんましん
筋肉	筋力の低下
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

- ・プラスチック製の容器に入った吸入剤です。
- ・容器本体の色：白色
- ・キャップの色：白色
- ・プッシュボタンの色：青色



【この薬に含まれているのは？】

有効成分	塩酸プロカテロール (1吸入中 10 μ g 含有) 1容器 200吸入
添加物	乳糖